

患者申出療養の試験実施計画の変更について

【申請医療機関】

国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院

【患者申出療養の名称】

マルチプレックス遺伝子パネル検査による遺伝子プロファイリングに基づく分子標的治療

【適応症】

根治切除が不可能な進行固形がん(遺伝子プロファイリングにより、治療対象となる遺伝子異常が確認されたものに限る。)

【試験の概要】

本療養は、遺伝子パネル検査を受け、actionable な遺伝子異常を有することが判明した患者に対し、それぞれの遺伝子異常に対応する適応外薬を患者申出療養制度に基づいて投与することを目的とする。

本療養は、標準治療が存在しない、あるいは、標準治療が既に行われた後の患者を対象としており、そうした患者にはエビデンスレベルが低い全身治療のみしか存在しないことから、本療養により、新規の治療選択肢が増えるという利益が期待される。一方、本療養による有害事象や緩和ケアを十分に受ける機会の喪失の可能性といった不利益が考えられる。この不利益を含めて、本療養実施前に十分な患者説明を行って同意を得る。

【実施期間】

2019年9月1日～2028年8月31日予定（追跡期間・解析期間を含む）

【予定症例数】

なし

【現在の登録状況】（2021年10月現在）

施設名	症例数
国立がん研究センター中央病院	33
北海道大学病院	26
東北大学病院	14

国立がん研究センター東病院	28
慶應義塾大学病院	25
東京大学医学部附属病院	12
名古屋大学医学部附属病院	21
京都大学医学部附属病院	35
大阪大学医学部附属病院	20
岡山大学病院	20
九州大学病院	19
静岡県立静岡がんセンター	2
合計	255

【変更内容】

- ・ 対象遺伝子パネル検査の追加に伴う研究計画書の改訂
追加遺伝子パネル検査: FoundationOne Liquid CDx がんゲノムプロファイル
- ・ 説明同意文書の改訂
説明文書に補足説明を追記

【変更申請する理由】

FoundationOne Liquid CDx がんゲノムプロファイルが新たに保険適用されたため、本試験の対象遺伝子パネル検査として追加するため。

また、本試験において発生した有害事象を受けて、説明・同意取得時の説明事項を追記した。

【変更後の研究計画書及び変更対比表】

資料 2-1、2-2 参照

【変更後の実施計画および変更事項】

資料 3-1、3-2 参照

【変更後の同意説明文書及び変更対比表】

資料 4-1、4-2 参照

【変更承認状況】

2021年9月30日に国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院臨床研究審査委員会において承認済である。資料 5-1 参照。